

提出いただいたご意見および市の考え方（意見件数 12件） ご意見は原文のまま掲載しています。

1	意見等 内容	鹿島市には、井戸掘削の制限がない。大口使用者がこの機会に井戸を掘られたら、大口の使用量が減り、水道事業の収入が減ることになり、さらなる単価上昇をしなければならなくなるのではないかと危惧している。
	市の 考え方	大口使用者の水道料金は料金収入全体の約4割を占めており、水道事業を支えていただいているとともに一般家庭の水道料金を低く抑えるための一助と なっていていただいております。 今回は一律15%の料金改定とさせていただきますが、大口使用者への配慮に対するご意見については、次回以降の料金体系への検討課題とさせていただきます。
2	意見等 内容	市の水道事業を持続するためには必要なことと考えます。未来の市民のために、今できることをおこなうべきです。
	市の 考え方	鹿島市の水道事業に関しまして、ご理解いただきありがとうございます。今後も企業経営の健全化に努め、計画的な整備・更新を行い、安心・安全な水道の供給に努めてまいります。
3	意見等 内容	水道料金アップのファクターやアップ率のエビデンスは理解できるものの、水道事業の収益確保や拡大などの今後の話題が貧しい。例えば、人口減に伴う収入減少を会社誘致などによって利用量の維持拡大を目指すなど、水道課にとどまらず鹿島市役所全体でもうけよう、次世代につなぐという努力目標や取組方針が必要ではないでしょうか。 一方、経費削減の項目を市民に知らしめてはじめて審議会に意義があり、説得力のある改定案になるのではないのでしょうか。
	市の 考え方	ご意見のとおり、水道料金以外の増収についても検討が必要であり、鹿島市では、第七次総合計画の中で人口減少対策など目標を定め、市全体で取り組んでいるところです。 水道事業の経費削減につきましては、前回の料金値上げ以降、人件費の削減や工事費用の抑制等を行うことで経営の安定に努めてきたところです。今回のパブリックコメントの資料には記載しておりませんでした。ホームページにて審議会（第2回）の資料に削減状況について掲載しておりますので、ご参考にさせていただければと思います。
4	意見等 内容	「更新費がどれくらいかかるか具体的に説明を」 「水道料金を15%引き上げる」の改定について、改定料金表を見れば2ヶ月あたり各家庭の値上げ分が分かります。その理由として（1）料金収入の減少、（2）更新費を確保するためとあり、（1）について節水機器の普及、人口減少などあげられていてよく分かります。しかし、（2）については具体的な説明がありません。水道管が耐用年数が約何年、更新時になっているのが約何m、その経費がいくらぐらいになるとの見積もりなどがあつたら一般市民も納得できるでしょう。値上げ15%で賄える根拠なども明示されたらどうでしょうか。 このことについて、市報などについて特集を組まれるのはどうでしょうか。いずれにせよ、毎日の生活に欠かせない水道ですから、専門家なりに上記の事を分からせていただければ、「15%値上げで足りるとね」との意見もでてくるかもしれません。全国的な問題だと思います。ご苦労様です。
	市の 考え方	水道管の法定耐用年数は40年となっており、法定耐用年数を過ぎたものを老朽管としております。令和4年度末現在の老朽管は約17kmですが、令和17年度には約109kmが老朽管となり、その後も増加し続けます。老朽化した109kmの更新費用には約87億円が必要であり、1年間で約9km、約7.2億円の工事費が必要となります。 しかし、管材の口径や材質を見直しコストダウンを図り、ピーク前に更新時期を前倒しすることや実績を踏まえて耐用年数を見直し、更新時期を延長することにより、集中する更新費用の平準化を図ることで年間約4km、約3.4億円の工事費となります。令和6年度から、工事予算を増額し着手する予定としてお

		<p>ります。</p> <p>値上げ率15%で賄える根拠については、収入や支出の財政シミュレーションを行った結果、今回の料金改定では令和11年度までの黒字を見込んでおります。今後、収支の状況や経済の動向を見ながら5年程度で料金見直しを検討することとしております。</p> <p>今回の資料には記載しておりませんでした。ホームページにて審議会（第2回、第3回）の資料にシミュレーションの結果などを掲載しておりますので、ご参考にしていただければと思います。</p> <p>市報への料金改定に関する掲載につきましましては、検討させていただきたいと考えております。</p>
5	意見等 内容	<p>日頃より市政のために市と職員の皆様方がご尽力されていることに感謝申し上げます。今回水道料金改定のパブリックコメント募集とのことで、いくつか意見を申し上げます。</p> <p>①料金改定について 水道料金改定について、素案には3つの原因が書かれていました。</p> <p>1、料金収入の減少の要因として、人口減少や節水機器の普及などを挙げられています。しかしながら、人口の減少については鹿島市だけの話や昨日今日に始まったことではなく、既に30数年前から言われてきた問題です。節水機器の普及についても言わずもがなです。ではなぜ“今”料金改定となったのでしょうか。これまでの間に段階的な改定を行い平準化ができたのではないかと考えます。様々なものが値上がりし、さらなる負担増で生活が苦しくなる市民のことを考えていただきたいです。</p> <p>2・3、管路更新費用の増加は、昨今の物価高や人件費の高騰から避けようのないことと思います。予算が限られているというのであれば、適正な予算範囲内での更新を行っていただきたいです。毎年毎年同じ管路延長を更新する必要はないと思います。老朽化が著しい箇所を中心に行う、費用がかかりすぎない施工方法を検討するなど行ってください。</p> <p>②審議会の答申について 今年の7月から全4回審議会が開かれ話し合いが行われています。そして、水道料金改定という市民の生活に大きく影響する答申が3か月と短い期間で答申が出されました。その間の市民への情報提供がどのように行われたのか、どの程度市民に知れわたっていたのか、市側が把握していたのでしょうか。「答申が出たからパブリックコメント募集します」のみならば、市民側もいきなり言われてもと戸惑います。（私が情報を掴んでいなかっただけなのかもしれませんが）市も、審議会から答申が出たからそれありきで話を進めるといった安易な考えを持たないで欲しいと思います。答申はあくまでも答申です。議会で議決されたわけではありません。しっかりとした内容の精査をお願いしたいです。</p> <p>③市政との関係について 鹿島市では近年大きな事業が行われています。既に新市民会館は完成し、今後は肥前鹿島駅前の再整備が計画され、その事業に多額の資金が必要と考えられます。そういった点には簡単に資金を投入するのに、水道事業の安定経営には料金改定で対応するのでしょうか。既に完了した事業についてはいざ知れず、人口は減り、利用者は減り、利便性も下がっている駅周辺の大規模開発には資金を投入する。正直、そこに多額の費用を使うのであれば、水道事業への繰入を増やし、市民の負担軽減を図ってほしいです。隣町では学校の統廃合が進んでいますが、鹿島市も他人ごとではないと思っています。水道料金の改定が必要なことであるならば、今後鹿島市が直面する問題を洗い出し、既に計画されている事業の精査し、費用対効果の見込めない事業を廃止するなどして、</p>

	<p>これ以上若い世帯や子供たちの世代が暮らしにくい市にならないよう舵取りをお願いします。</p> <p>今回の（案）に対するところからは少しずれているかもしれませんが、私の意見とさせていただきます。長文、乱筆、失礼いたしました。</p>
<p>市の 考え方</p>	<p>①-1</p> <p>料金改定の時期につきましては、令和2年度に策定しました中長期財政計画の中で、更新費用の急増や令和9年度に赤字となる予測を踏まえ、改定時期を令和6年度より取り組むこととして準備を進めてきたところです。</p> <p>また、これまでは老朽管がそれほど多くなく多額の更新費用が必要ではなかったこと、過去の工事費の起債（借金）の返済に努めてきたことが主な要因で支出を抑制し、安定的な運営を行うことにより改定に至りませんでした。</p> <p>コロナや物価高騰などの社会情勢の中、ご負担をおかけする事は重々承知しておりますが、急増する老朽管路による漏水事故防止のため、問題を先送りすることも難しいと判断し、今回の改定をお願いするところです。</p> <p>①-2・3</p> <p>管路の更新費用の増加は、物価や人件費の高騰もありますが、令和10年度より急増し始める老朽管路の工事費が主な理由です。</p> <p>現在、約1億円の予算で管路の更新を行っていますが、管材の口径や材質を見直しコストダウンを図ることや、更新時期をピークより前倒して工事すること、実績を踏まえて耐用年数を見直し、更新時期を延長することにより、集中する更新費用の平準化を図った結果、年間約3.4億円の工事費が必要となります。</p> <p>令和4年度の水道事業会計の純利益は約8千万円程度となっており、このままでは事業費が不足することを受けて、今回料金改定を進めているところです。なお、管路の更新計画につきましては、災害発生時に避難所となるような施設や病院などにつながる重要な管路や広域断水等を招く管路を優先的に更新し、支線や末端管路は修繕等で対応し更新時期の延長を図ることにより、必要最小限の計画となっております。</p> <p>②審議会の答申について</p> <p>市民への情報提供につきましては、審議会の開催後に審議資料や協議内容をホームページに掲載しお知らせしていたところです。</p> <p>また、今回の水道事業審議会において料金改定の審議期間は、3カ月間でありましたが、様々な立場の市民の方や専門家の方に集中して議論していただき、料金改定(案)を答申していただきました。この答申を素案として、今回のパブリックコメントにより、市民の方の多様なご意見をいただいているところです。今後、その結果を議会へ報告し、令和6年3月議会において水道料金改定の条例改正議案を上程し、ご審議いただくこととしております。</p> <p>③市政との関係について</p> <p>水道事業は、市役所組織の中ですが、独立した公営企業という組織として運営されており、原則として料金収入のみで経営を行う独立採算制となっております。このため、市の予算から繰り入れられる予算費目は特例事項（消火栓設置など）を除きできないこととなっております。</p> <p>また、水道事業への繰り入れを増やすことは、市の限られた予算を削ることになり、本来必要とされる公共事業の整備や福祉事業などに影響を与える可能性があります。</p> <p>今回の料金改定は、皆様にご負担を強いることとなりますが、水道事業を安定的に運営することで、安心・安全な水道水の供給を継続していくためでございますのでご理解のほどよろしくをお願いいたします。</p> <p>ご意見にありますとおり、鹿島市としましては、今後若い世帯や子供たちの世代が暮らしやすい市を目指して今後も取り組んでまいりたいと考えております。</p>

		す。
6	意見等 内容	<p>公共料金の改定に市民の意思を問われる姿勢は評価します。 行政運営の民主性が問われる時代が故、特にその様に思えます。</p> <p>以下、本題の水道料金値上げに関して申し上げます。</p> <p>水源の100%を地下水とする本市の水道料金はかつて、「日本一水道料金の安い市」と誇られました。中木庭ダム建設に始まる将来の表流水混用計画を契機に大幅値上げが敢行された経緯があります。</p> <p>新たなダム負担金の発生と、大木庭浄水場新設費用の発生が最も大きな要因でした。しかしその計画は水道事業会計に負担は乗りましたが、計画は動かず塩漬け状態で今日に至ります。</p> <p>今回の値上げ計画は、それらの投資効果とも無縁ではありません。</p>
	市の 考え方	<p>今ひとつ気になるのは、30年に及ぶ経済低迷と市民生活の所得低迷の最中にある今を考慮することです。可処分所得が低迷する反面、生活物価は高騰している最中にあります。その他の要因として税収増、過大と思われる公共事業に、政府は批判の矢面にあります。</p> <p>水道料金改定の間に、その様な思いがよぎり一筆投じます。</p>
7	意見等 内容	<p>前回平成12年に料金改定を行って以降、現行の料金体系で事業を運営するなか、中木庭ダム、大木庭浄水場整備、管路整備などの拡張事業に伴う多額の企業債の返済などを行ってまいりました。しかし、この事業のなかで、大規模に管路の布設を行ったことにより更新費用が抑えられていたため、20年以上料金の改定を行わずに済んだという面がございます。</p> <p>今回の料金改定につきましては、約40年前に布設した管路が今後一気に老朽化していくことにより増加する更新費用の確保が主な目的となります。</p> <p>このため、物価高騰などの折、水道料金の改定は市民の皆さまにはご負担をおかけすることになりますが、改定時期を遅らせることは更新工事を抑制することとなり、水道の安定的な供給に影響がでてくると判断し、令和6年度からの改定を予定しております。ご理解のほどよろしく願いいたします。</p>
	市の 考え方	<p>このような事案こそ議会の議案として論議すべきで、水道料を単に15%上げると言うのはもってのほか！ 議論を尽くした上での話であれば、市民も納得いくのでは？</p> <p>市税若しくは、国からの助成金など充当できるかもなどなど！</p> <p>ご意見のとおり、水道料金の改定は議会の議決事項となっております。</p> <p>今回ご意見を募集しております料金改定（案）は、市民生活へ多大な影響を及ぼすため、様々な立場の市民の方や専門的分野の方にお集まりいただき、水道事業審議会で議論いただいた答申を素案として、今回のパブリックコメントにより、市民の方の多様なご意見をいただいているところです。今後、その結果を議会へ報告し、令和6年3月議会において水道料金改定の条例改正議案を上程し、ご審議いただくこととしております。</p> <p>また、ご意見のとおり税金や国からの助成金を充当することができればご負担を軽減することができるのですが、水道事業は、原則として水道料金のみで賄う独立採算制となっており、赤字補てんとして市の税金を投入することができません。</p> <p>なお、工事に関して国の補助など充当できるものを検討しておりますが、残念ながら該当する事業がない状況です。管路の更新につきましては、全国的な問題となっておりますので、事業費の軽減を図るため今後も国に補助等の拡充を要望してまいります。</p>

8	意見等 内容	<p>改定率を令和6年度以降に10%引き上げた場合と、15%に引き上げた場合の収支のシミュレーションを示してあるが、赤字になる見込みは1年しか変わらない。いかに状況がひっ迫しているのかが見て取れる</p> <p>正直なところ、施設では大量の水を必要とするため、15%増の料金改定は、年間で考える場合、高額増となるため厳しいところ。</p> <p>しかし、水道は最も重要なライフラインであることも理解しており、管路更新を計画的に進めてもらうこともまた重要と考える。</p> <p>よく計画してもらって、正しく水道料金を使っていただければと思う。大変だと思うが、期待するところである。</p>
	市の 考え方	<p>水道事業に関しまして、ご理解いただきありがとうございます。今後も企業経営の健全化に努め、計画的な整備・更新を行い、安心・安全な水道の供給に努めてまいります。</p>
9	意見等 内容	<p>今回の水道料金改定（案）は、老朽化した管路を更新するため多額の財源が必要なことから、水道料金を上げるしかない。安定的な水道事業を継続するためには仕方がないことだと思います。ただ、今回の水道料金改定（案）により施設で年間2百万円の増、法人全体では約6～7百万円の増となるのです。そこで次のことを提案いたします。</p> <p>○大口使用水量事業者への軽減措置を考えてもらえないでしょうか。</p> <p>例えば）使用水量4,000m³～4,999m³ 請求金額の3%減額 使用水量5,000m³以上 請求金額の5%減額</p>
	市の 考え方	<p>水道事業に関しまして、ご理解いただきありがとうございます。</p> <p>今回は一律15%の料金改定とさせていただきますが、大口使用者への軽減措置につきましては、今回の意見を参考に、次回以降の料金体系への検討課題とさせていただきたいと考えております。</p>
10	意見等 内容	<p>水道料金の値上げを行えば、水道設備が良くなるというのはもちろん分かります。</p> <p>お金を出せば良い家にも住めますし、良い車にも乗れるでしょう。</p> <p>市の設備も同じですよ。政策で解決しなくても、単純に使用料をあげれば馬鹿でもできる簡単一発解決です。</p> <p>資源を無駄にしない。節水を呼びかけて水道の使用量が低下したから値上げします。</p> <p>高齢化社会です。人口が減って水道の使用量が低下したため値上げします。</p> <p>そのような考えなら、皆様におかれましては水道の蛇口を常時開けっぱなしにされまして節水せずに水道を使いまくれば、使用量が増え水道設備の更新費用が出せますので時間を決めて水道を無駄に使われますよう宜しくお願いします。の方が水道の有効活用ができませんかね。</p> <p>水道の使用量が減ったのなら、ダムの数も減らせますよね。ダムの維持費って年間どのくらいかかるのでしょうか？</p> <p>使用料を増やすためにキャンペーンを行ってみるのはどうでしょうか？</p> <p>水の無駄遣いキャンペーン！ポイントカードもあるよ！みたいな。</p> <p>各水回りのメーカーにおかれましては、節水機能のついた製品の開発を控えていただくように市から声かけは行なっているのでしょうか？</p> <p>トイレは1回の使用で2回流しましょうキャンペーンです。</p> <p>もちろん洗濯機も3回すすぎを推奨です。洗剤メーカーにはすすぎ1回タイプの洗剤の開発中止の声掛けが必要ですね。</p> <p>高齢化社会においては国がまともな政策を打ってこなかったツケを、我々生産世代がモロに割りを食ってるわけです。</p>

	<p>その上でなお、お金を出せと申されますか？泣きっ面に蜂。死体蹴りとはまさにこの事ではないでしょうか？</p> <p>就職氷河期を泥水すすりながら生きてきた世代です。満足な雇用形態も与えられぬまま、金品だけは根こそぎ持っていかれ満足な老後の蓄えもない世代です。</p> <p>せめて子育て家庭に関しては、使用料の値上げ分を児童手当に上乘せするとかできませんでしょうか？</p> <p>将来世代に負担を先送りという表現に不覚にも爆笑してしまいました。</p> <p>なにもわかってないですよ。</p> <p>今の子供達が子供であるうちの教育がいかに大事な事か。教育費用に負担が回らないようにお願いします。</p> <p>大学無償化も達成できていないのに、生活インフラの値上げとは恐れ入ります。</p> <p>もこうなることは予想できてたわけですよ。逆になぜ今までお金を貯めてきていないのでしょうか？</p> <p>60代70代の方達の責任は大きいと思いますよ。</p> <p>この世代より古い世代は戦争を経験し、厳しい時代を生きて復興を経験されてきてますよね。尊敬します。</p> <p>40代50代の方々は不景気を経験し、非常に不安定な経済状況で必死に日本を支えてきましたよね。</p> <p>20代30代の方達はコロナも経験し、今まさに小さい子供をもっている方や経済的に結婚が難しい方もいますよね。大変です。</p> <p>バブルを経験してきた方々は、生活に余裕があったにも関わらず、全て使い切ってしまったのでしょうか？</p> <p>年代別に使用料の値上げ率を変えてみるのはいかがでしょう？今まで鹿島の水道を使ってきた年数に応じて値上げ率を細かく分けるんです。</p> <p>長く使ってきた世代が多く払うのは平等感があって良いですよ。</p> <p>あとは市外から移住してこようとする世帯には、今回の値上げは黙っておいた方がいいですね。</p> <p>鹿島市に移住すると水道料金が高つくというのあまり良い印象を与えませんので。</p> <p>住んで仕舞えばこっちのものですからね。黙っておきましょう。騙し討ちが勝利の鉄則です。</p> <p>水道事業におかれましては、生活インフラですので設備維持運用にかかわる費用は絶対に必要な経費です。</p> <p>このような経費を市民の善意に頼るのではなく、国の方にしっかりバックアップをお願いできる体制を作るように市の政策としてしっかり運用して行ってはもらえないでしょうか？</p> <p>生活インフラに関してはマイナス分を国が補填する法律を作るべきですね。</p> <p>今の市議会議員さんで国会に問題提起してもらい、水道事業が赤字化する令和10年までに、目標達成できるよう優秀な人材を集め国に働きかけて行ってください。頑張ってください。値上げは愚策です。誰でも出来ます。宜しくお願いします。</p>
市の考え方	<p>料金改定の時期につきましては、令和2年度に策定しました中長期財政計画の中で、更新費用の急増や令和9年度に赤字となる予測を踏まえ、改定時期を令和6年度より取り組むこととして準備を進めてきたところです。</p> <p>また、これまでは老朽管がそれほど多くなく多額の更新費用が必要ではなかったこと、過去の工事費の起債（借金）の返済に努めてきたことが主な要因で支出を抑制し、安定的な運営を行うことにより改定に至りませんでした。</p> <p>コロナや物価高騰などの社会情勢の中、ご負担をおかけする事は重々承知しておりますが、急増する老朽管路による漏水事故防止のため問題を先送りすることも難しいと判断し、今回の改定をお願いするところです。</p>

		<p>水道事業は、原則として水道料金のみで賄う独立採算制となっており、赤字補てんとして市の税金を投入することができません。</p> <p>なお、工事に関して国の補助など充当できるものを検討しておりますが、残念ながら該当する事業がない状況です。管路の更新につきましては、全国的な問題となっておりますので、事業費の軽減を図るため今後も国に補助等の拡充を要望してまいります。</p>
1 1	意見等 内容	<p>水道料金について料金引き上げは反対です。</p> <p>今までは市民が支払っていた水道料金で維持管理していたとの事だが、この様な老朽化などの様々な理由であろうと市民の更なる負担に頼るのは、違うと思う。絶対に必要不可欠な水の事なので、改めて税金の活用優先順位をあげるべき事項と思う。その為に税金を支払っているのではないのでしょうか？絶対にかかる費用が増える地域に、UターンやIターンする方々も住みたいと思うだろうか？益々過疎化が進む原因にならないだろうか？</p> <p>ただでさえ、収入は上がらない、国や地方行政に支払う額は上がっている時代に。</p> <p>住みやすい市にしていく為にも、税金の活用の優先順位は柔軟に対応していただきたい。</p>
	市の 考え方	<p>水道事業は、市役所の中の組織ではありますが、独立した公営企業として運営されており、原則として料金収入のみで経営を行う独立採算制となっております。このため、市の予算から繰り入れられる予算費目は特例事項（消火栓設置など）を除きできないこととなっております。</p> <p>また、水道事業への繰り入れを増やすことは、市の限られた予算を削ることになり、本来必要とされる公共事業の整備や福祉事業などに影響を与える可能性があります。</p> <p>今回の料金改定は、皆様にご負担を強いることとなりますが、水道事業を安定的に運営することで、安心・安全な水道水の供給を継続していくためでございますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>
1 2	意見等 内容	<p>市水使用が多い企業として、これまで以上に、節水を推奨していく所存であり、今後とも安定供給をお願いしたいと思っております。</p> <p>一方で、人口の減少、節水機器の普及による使用水量の減少が料金収入減少の要因とのこと、弊社では生産段階でも節水を推奨し、製造品は節水タイプの機器を製造している立場からすると複雑な要因です。</p> <p>長年値上げなく維持されてきたことは、市民も納得されると思われませんが、配管老朽化による更新は、計画的に予算化し進めていただきたい。</p>
	市の 考え方	<p>水道事業に関しまして、ご理解いただきありがとうございます。今後も企業経営の健全化に努め、計画的な整備・更新を行い、安心・安全な水道の供給に努めてまいります。</p>